



● 草の根パートナー型

平成15年度第1回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	ミャンマー
2. 事業名	コーカン特別地域プライマリーヘルスケアプロジェクト
3. 事業の背景と必要性	2002年にケシ栽培が禁止されたコーカン特別地区では、JICA蕎麦プロジェクトなどの代替作物の模索が行われているが、長い年月、ケシ栽培に依存してきた住民に決定的な解決策はなく、2004年から数年間、食糧危機に見舞われると予想されている。特に打撃を受けやすいのが、5歳未満児を中心とした子供と出産を控えた妊産婦である。山地で未舗装の区間が多いこの地域では、医療機関へのアクセスが悪く、又、過去において同自治政府の保健医療に対する取り組みが不十分であったため、保健医療システムが機能しているとは言い難い。さらに、NGOによる支援活動も特別地域という制約に縛られ、皆無に近かった。一方、予防的な活動も現在のところ予防接種を除いて実施されておらず、その摂取率も40%程度で、90%前後をカバーしている他のミャンマー国内地域との比較においても非常に低い。家族計画も普及していないことで夫婦一組あたりの出生児数も5人以上と多く、上述の食糧難により乳幼児や母親の栄養状態はさらに悪化していくことが予測される。
4. 事業の目的	コーカン地区対象コミュニティの住民参加を基盤にした地域保健・衛生活動の確立と、地域住民（特に母子）の健康状態、保健衛生知識の改善に寄与する。
5. 対象地域	北シャン州コーカン特別地域
6. 受益者層	コーカン特別地区内国境地域診療所周辺集落に居住する地域住民。特に、母子にターゲットを置く。
7. 活動及び期待される成果	事業目的の達成のために保健衛生知識の変化、健康状態の変化、予防接種率の変化を指標にあてる。以下の個々の活動の期待される成果及び指標は以下のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> 住民主体の保健衛生活動の基盤が整う。 保健ボランティア数、住民参加による保健衛生プログラム数の変化、保健ボランティアの参加日数・人数変化を指標にする。 公共第一次医療施設の機能が向上する。 国境地域診療所利用者数の変化、医療スタッフのアウトリーチ活動参加日数の変化を指標にする。 安全な水のアクセスを含めた衛生状態が改善される。 安全な水にアクセスできる世帯数の変化、対象住民の衛生知識変化を指標にする。
8. 実施期間	2004年10月～2006年8月（1年11ヶ月）
9. 事業費	第一年度契約金額：19,226千円（精算金額：15,936千円） 第二年度契約金額：24,788千円
10. 事業の実施体制	現地保健省および国境省をカウンターパートとして、既存のアムダ事務所（4事務所および1研修所）からの後方支援で、コーカン地区ラオカイ市にプロジェクト事務所を設置し、事業を運営する。アムダ岡山本部だけでなく、海外支部や国内支援機関の技術的支援を受けて、事業を実施する。
II. 実施団体の概要	
1. 団体名	特定非営利活動法人 アムダ
2. 活動内容	主に保健分野における人道的開発援助活動